



「しおんのブログ」  
のQRコードです。  
ぜひご覧ください。

放課後等デイサービス

しおん

2023年

特別号 NO.1

## 「選ぶ活動」について①

「しおん8月号」でお知らせしていた通り、  
6月から隔週で始めている「選ぶ活動」について、  
導入の経緯や、支援としてのねらいをお伝えさせていただきます。

放課後等デイサービスガイドライン（平成27年4月）  
「1 総則／（2）放課後等デイサービスの基本的役割」では、  
放課後等デイサービスの役割の一つとして、以下のように述べています。

### 『子どもの最善の利益の保障

放課後等デイサービスは、支援を必要とする障害のある子どもに対して、  
学校や家庭とは異なる時間、空間、人、体験等を通じて、  
個々の子どもの状況に応じた発達支援を行うことにより、  
子どもの最善の利益の保障と健全な育成を図るものである』

### 子どもはあそびの中で育つ

幼児期から児童期の子どもたちにとってのあそびは、食事や睡眠などと同じくらい心身の成長・発達に  
欠くことのできない大切な要素です。  
そしてあそびが成立するには「3つの間」が必要であると言われています。

### 3つの間がなくなってきた放課後

かつて家庭でも学校でもない放課後は、子どもたちにとっての居場所としての役割を果たしていました。  
居場所とは、子ども時代にしかできない体験を、ありのままの自分と対話しながら過ごすことができる  
空間と時間です。また、自身の居場所を仲間と共有しながら、あそびを通して様々な事象に出会い、  
そこから大人になっていくために必要な力を体験的に身につけていました。

子どもを取り巻く社会環境の変化によって「3つの間」が失われてきたと言われています。  
「3つの間」とは、時間、空間、仲間の間という字を集めたことばです。

しおんには、お子さまが安心安全の中で過ごすことができる時間と空間があります。  
そして、活動やあそびを通してかかわり合える仲間がいます。「子どもはあそびの中で育つ」という大原則に  
立ち返り、しおんに通ってくださっているお子さまが、主体性を発揮しながら仲間とかかわりあう中で  
思いや体験を共有し、共に生きていく力を身につけていく機会を保障していきたいと考えています。

次号では、「あそびの中で育つ力」についてお伝えさせていただきます！





「しおんのブログ」  
のQRコードです。  
ぜひご覧ください。

放課後等デイサービス

# しおん

2023年

特別号 NO.2



## 「選ぶ活動」について②

前号から引き続き「選ぶ活動」についてお伝えさせていただきます。

子どもはあそびを通してたくさんのことを学び、心を豊かにしていきます。  
あそびには子どもの成長・発達に影響を及ぼす要素がたくさんあります。

### あそびの中で育つ力とは？

40年以上に渡って「子どもの成長のために」という視点から、あそびについての様々な研究や環境づくりを行っている  
ポーネルドという会社のホームページに、以下のようなことが書かれてあります。

#### あそびで育む“生きる力”

- ・想像力  
自由な発想で、限りなく広がるあそびの世界。夢中になってあそんだ経験は、夢見る力につながっていきます。
- ・創造力  
誰もが持っている、その人だけの感性を生かすこと。  
湧きあがるイメージを自らかたちづくる楽しさや、つくりあげたときの達成感をもたらします。
- ・発見と理解  
見て聞いて、触って確かめて、発見が感動とともに学びや理解につながっていきます。
- ・コミュニケーション能力  
楽しいこと、おかしいこと、時には秘密…。それらを誰かと共有する楽しさ。こうしたことの積み重ねが、  
人と人の間に信頼感を育みます。

### 6月から始めた「選ぶ活動」

放デイしおんでも上記ポーネルドの「あそびについての考え方」と同じことを願い、夢見て  
日々スタッフで話をしています。お子さまの「好きなこと」「興味があること」「やってみたいこと」を  
一つずつ少しずつ形にして提供していきたい。

その中で、お子さまが主体的にイキイキとあそぶことができる環境を保障したい。  
そして、その環境の中で仲間とかかわり、たくさんのことを感じてほしいと考えています。

繰り返しになりますが、子どもたちはあそびを通して様々なことを学び身につけていきます。  
ですが、それが「受け身」であるならば結果は半減してしまいます。  
大人が子どもに何かを「させる」の前号は、子どもが自ら行動をおこすとは大きな違いがあると考えています。  
主体的なあそび体験は子どもの経験となって、今後の生活や社会の中で活かすことのできる力となっていきます。  
まさに「生きる力」だと思います。

6月から始めた「選ぶ活動」ですが、実際にお子さまの積極的な言動や  
これまで接点がなかった仲間とやりとりを重ねる姿が増えてきているように感じています。  
また、これらはねらい通りではありますが、ゴールだとは考えていません。  
今後もあそびを通してお子さまの主体性や積極性を引き出すことができる環境をつくりながら、  
これまでのようにSST（ソーシャルスキルトレーニング）の要素を中心とした療育を展開していきたいと考えています。

次号では、「選ぶ活動」を通してお子さまに感じてほしいこと、  
今後しおんの療育が大切にしていきたいことについてお伝えさせていただきます。





「しおんのブログ」  
のQRコードです。  
ぜひご覧ください。

放課後等デイサービス

# しおん

2023年

特別号 NO.3

これまで6月から始めている「選ぶ活動」についてお伝えしてきました。  
前号では、「あそびの中で育つ力」についてお伝えしました。今号が最終号となります。

「選ぶ活動」について③

子どもたちにとっての放課後とは家庭でも学校でもない特別な時間であると言えます。  
そんな特別な時間ですから、しおんに通ってくださるお子さま一人ひとりにとっても  
「楽しい時間」「ドキドキわくわくできる時間」「安心できる時間」であってほしい思うとともに、  
それらを仲間と共感できる場所でありたいと考えています。

では、なぜ「選ぶ活動」なのでしょう。  
キーワードは次の3つです。

「安心感」  
「主体性」  
「関係性」

## お子さま一人ひとりの安心の基地として

子どもたちはその瞬間瞬間を懸命に生きています。まさに全力疾走状態です。  
それを可能にするのは保護者の皆さまやご家族の存在であることは間違いありません。子どもたちの一日の出発点であり、必ず帰って来る  
「家庭」は、お子さまにとっての安心の基地だと言えます。我々しおんは、家庭に帰る途中に寄り道ができるお子さまにとって  
の「居場所」のような存在でありたいと考えています。

保護者の皆さまとお話から、お友だちや先生方との関係、学習面などで困ったり悩んだり、時には傷ついているお子さまの様子を伺う  
ことが少なくありません。我々しおんは、お子さまがそのようなネガティブな事象に遭遇したときに、ホッと一息つけたり気分転換ができ  
る環境でありたいと考えています。その中で、安心感に包まれながら、自身の興味関心に基づいたあそびや活動ができたり、それらを一緒  
にすることの楽しさを仲間と共感し合っていたりしたいと考えています。

保護者の皆さまと同じように、お子さまのより良い成長と発達を願いながら、一人ひとりにとって安心の基地になりたいと願っています。

## 主体性を持って臨んでほしい

フィードバックでは療育中のお子さまの様子をお伝えしていますが、こんなふうには感じられたことはないでしょうか？  
「なんで今頃プラレールなの？」「ブロックやおままごとは小学生になる前に何度もあそびてきたけど」「これが療育？」  
ごもっともなご意見だと感じています。「選ぶ活動」では、お子さまがこれまでに経験しているであろうあそびを意識的に提供してきま  
した。特に、プラレールやブロック、おままごとは多くの子どもたちが好きになる人気があるあそびです。このように、お子さまの「し  
たことがある」という経験から抱く安心に、楽しさを知っているという強みを重ねられるあそびを設定してきました。また、内容に見通し  
や期待を持つことができる、また、ありのままの自分を出すことが期待できる内容を考えてきました。

そして、これらの条件が揃うことで、お子さまの主体性を引き出すことをねらいとしました。どんな有効な手立てや内容でも、お子さま  
の気持ちが後ろ向きであれば、それらの効果はどうしても半減してしまいます。「選ぶ活動」では、お子さまが主体性（積極的な姿勢）を  
持ってあそびに臨む中で、仲間とかかわることをねらいとしています。

## 関係性の支援

安心感の中で自分が好きなこと（あそびや活動）ができることで、お子さまには心の余裕が生まれます。この心の余裕は、同時に他者を  
意識する余裕でもあります。ここで言う他者とは、一緒に様々なことを体験する中で感じるポジティブな感情を共感し合うことができる、  
お子さまにとっての仲間と呼べる存在です。また、子ども同士ですから楽しいことばかりではないかもしれません。時には、ケンカをする  
こともあります。我々大人が仲直りを急がなくても、互いに自身の気持ちを整理することで、いつの間にか、再び一緒にあそびの中でか  
わり合うことができます。これは、仲間同士という関係性があることで可能になります。こういった経験を重ねていく中で、お子さまに  
は人とかかわることの楽しさや心地よさ、安心などを感じていただきたいと願っています。

今後何十年と続くお子さまの人生の中で、様々な場所で多くの人とかかわって生きていくことが求められます。そのときにより良い人間  
関係を構築し、ともに過ごしていく中で、それぞれの幸せを追求していくために必要な力があります。最近では『コミュニケーション力』  
や『非認知能力』などと言われ、点数や数値では表すことのできない人間力として研究が進んでいます。しおんでの経験がこれらの種とな  
り、いつかお子さまが自分なりの花を咲かすことができると信じ、願っています。

## 最後に

最後まで目を通していただき、ありがとうございます。「選ぶ活動」における方向性は大きく間違っているとは思っていませんが、その内  
容や手段はこれからまだまだ検討の余地があります。今後もスタッフ一丸となって同じ方向を向いて、より良い療育の提供を目指してい  
きます。ご覧になられて、我々の話を聞いていただいて、なにか感じられることがありましたら、遠慮されることなくお伝えいただければ幸  
い입니다。よろしくお願いたします。

